

◆ あとがき ◆

本特集では、補体と腎疾患について取り上げました。補体系は、自然免疫系の1つで細菌感染などの有事の際に直ちに活性化し対処できるよう、常に準備態勢を整えている生体防御系です。同時に補体系には、補体活性化が宿主に傷害を与えないように制御する機構も備わっています。

この補体系のバランスが破綻すると、さまざまな疾患が引き起こされます。

補体と腎疾患に関する研究の歴史は古く、1950年代後半には蛍光抗体法を用いて、ループス腎炎やIgA腎炎、膜性腎症などの糸球体に補体が染色されることが明らかにされました。1970年代には、膜性増殖性腎炎など一部の糸球体腎炎患者の血清中にC3に対する自己抗体であるC3ネフリティックファクター（C3NeF）が発見されるなど、補体と腎炎との関連は活発に研究されてきました。その後、補体学の臨床研究は診断や病態研究を中心に行われてきました。2000年代になり、分子標的薬など新規治療薬の開発・研究とともに補体制御薬の研究も進展し、2010年に抗C5モノクローナル抗体（エクリズマブ）が発作性夜間ヘモグロビン尿症に保険適用となり、2013年には非典型溶血性尿毒症症候群にも適用されました。さらに2022年には、C5a受容体拮抗薬（アバコパン）がANCA関連血管炎に保険適用されるなど、補体と腎疾患に関する研究は再び脚光を浴びています。

補体系は複雑で理解しにくい面もあります。本特集では、補体系、さらに補体系と腎疾患の関連をより深く理解し、実臨床に応用するために、わが国でこの分野をリードする専門家の先生方にご執筆いただきました。まず、総論では補体学の歴史、生物の進化と補体、さらに補体経路と制御機構などについて論じ、次に各論では代表的な腎疾患における補体と病態生理について、さらに最近注目されている腎疾患への抗補体薬について、その作用機序と有効性についても記載しています。

「故（ふる）きを温（たず）ねて新しきを知る：温故知新」。本特集が補体と腎炎の理解、研究および日常臨床に役立つことを願っています。

有村 義宏

本誌広告取扱い

文栄社 〒113-0033 東京都文京区本郷3-26-1

本郷宮田ビル5階 ☎03-3814-8541

メディカ 〒105-0013 東京都港区浜松町1-12-9

アド 第1長谷川ビル2階 ☎03-5776-1853（代）

・本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権（送信可能化権を含む）は©東京医学社が保有します。

・**JCOPY** <出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、一般社団法人出版者著作権管理機構（電話03-5244-5088、FAX03-5244-5089、e-mail: info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。

『腎と透析』次号予告——第97巻第2号（8月号）

特集：腎移植：知っておくべき最新の話題

総論：腎移植の動向

生体腎移植（成人）の動向と治療成績……中川由紀

献腎移植（成人）の動向と治療成績……丸山通広・他

献腎移植（小児）の動向と治療成績……穴戸清一郎

献腎移植（脳死および心停止ドナー）の実際……齋藤和英

各論：最新の話題

腎代替療法選択指導外来の現状……日高寿美

献腎移植とバーチャルクロスマッチ……西川晃平

生体腎移植ドナーの予後……剣持 敬

多次腎移植の実際……平光高久

わが国の島嶼の腎移植……佐伯英二・他

慢性活動性抗体関連拒絶反応の

バイオマーカー……原田 浩・他

腎移植における内科医の役割と日本の現状……長浜正彦

腎移植患者の糖尿病治療薬……多田和弘・他

腎移植患者のHIF-PH阻害薬……尾本和也

腎移植患者の脂質異常症治療薬……緒方聖友・他

腎移植患者の冠動脈疾患と治療……中尾 優

腎移植患者の悪性腫瘍スクリーニング……瀧谷祐一・他

腎移植とIgA腎症再発……林 綾香・他

腎移植と果状分節性糸球体硬化症（FSGS）

再発……服部元史

移植とaHUS（非典型溶血性尿毒症症候群）……奥見雅由

腎移植とCMV感染症……齋藤 満

腎移植と尿路生殖器感染症……和田耕一郎

腎移植患者のプレコンセプションケアと

妊娠について……藤田太輔

高齢レシビエント（認知症・フレイルなど）の

外来管理と諸問題……岡本雅彦

異種腎移植の臨床応用に向けた現状と展望

……友杉俊英・他

名誉主幹／酒井 紀	秋澤忠男	飯野靖彦	
編集顧問／五十嵐隆	遠藤 仁	小椋陽介	川村哲也
木村健二郎	小磯謙吉	小山哲夫	酒井聡一
坂井建雄	佐中 孜	塩之入洋	高市憲明
堀江重郎	細谷龍男	矢崎恒忠	山口 裕
山田 明	竜崎崇和		
編集主幹／有村義宏	小林修三	新田孝作	
編集委員／青柳一正	安藤亮一	伊藤秀一	河原克雅
菅野義彦	清水 章	高橋公太	高橋 悟
長田道夫	服部元史	平和伸仁	星野純一
本田浩一	横尾 隆		

第97巻第1号

©2024年7月25日発行

定価 3,190円

（本体2,900円＋税10%）

KIDNEY AND DIALYSIS
腎と透析

編集 腎と透析編集委員会

発行所 株式会社 東京医学社

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-40-5

URL <https://www.tokyo-igakusha.co.jp>

編集部 03-3237-9113 FAX 03-3237-9115

Eメール: jin@tokyo-igakusha.co.jp

販売部 03-3265-3551 FAX 03-3265-2750

Eメール: hanbai@tokyo-igakusha.co.jp

2024年前金予約購読料1カ年50,600円(増刊号含む、税込)